

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立妻里小学校

担当教諭名 生田目 みつ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 23年 11月18日 (金) 10:30 ~ 13:30
対象学年と人数	4年生 46名 (2クラス)
派遣講師名と出身国	新垣 マリア 様(ペルー) イ・イヨンヒ 様(韓国)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">・クラスごとにそれぞれの先生のお話を聞き、次の時間に交換して別の国の話を聞く。・それぞれの国の言葉で、あいさつの仕方を習う。・ゲームやダンスを一緒に楽しむ。・会食をする。(給食)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	自分たちで海外からの講師を探すのは大変なので、ワールドキャラバンはとても助かります。日本語もできるため、細かい打ち合わせができ、さらに、講師の先生方は熱心で、自分の国を紹介するのに一生懸命です。その熱意が児童にも伝わって、毎回充実したものになっています。ただ、同じ国や講師が続いてしまうと児童の興味が半減してしまうため、考慮してほしいと思います。
生徒・保護者等参加者の感想	民族衣装を着たら、生地や色の使い方、模様の特徴などが日本の着物とちがっていることが分かりました。(児童) 国旗の模様にもいろいろな意味があることや、地図を見て日本とどのくらい離れているのかが分かりました。(児童) 民族衣装にも年代によって着る色があるというので、日本ではどうなのかなと思いました。(児童) ダンスは、音楽にのって簡単に踊れるものだったので、みんなで楽しく踊ることができました。(児童) 部屋の中で簡単にできるゲームなので、みんな盛り上がり取組んでいました。(児童)
先生の感想	どの講師の先生方も、紹介するために準備をよくしてくださるので、毎回楽しく行うことができます。特に、民族衣装は児童がとても興味を持つもので、実際に友達が着たのを見て気付いたことがたくさんです。ゲームやダンスは、少しの練習ですぐにできるものなので、その国を理解する上でとても助けになっています。講師の先生に、より近く話が聞けるように、クラスごとに話を聞き次の時間は交換するやり方なので、質問もしやすくなっています。(担当教諭)



茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立妻里小学校

担当教諭名 生田目 みつ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成24年 1月19日(木) 10:30 ~ 13:30
対象学年と人数	1年生43名(2クラス) 2年生36名(1クラス)
派遣講師名と出身国	キム・ヒジジェイ(韓国) サイ・ウコウ(中国)
活動の内容	・自己紹介と母国語でのあいさつ ・韓国や中国の学校生活や生活の仕方についての話 ・ゲーム ・会食(給食)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	どの講師も自分の国のことを伝えようと一生懸命で、児童も楽しみながら最後まで話をしっかり聞き、外国の文化に対して興味と関心を高めることができました。
生徒・保護者等参加者の感想	中国のゲームは名前がちがったけれど日本のゲームに似ているところがあった。やっているうちにすごく楽しくなってきた、もっとやりたかった。(児童) 中国がすごく大きな国だということが写真から分かった。(児童) パンダがかわいかったしめずらしい建物もいっぱいあったので、行ってみたいと思った。(児童) 韓国の料理がとてもおいしそうだった。いつも食べている料理の中に、韓国の料理がいっぱいあったのでびっくりした。(児童) 韓国の着物はすごくふわふわしていて、きれいだった。(児童)
先生の感想	どちらの講師も児童にすぐとけこみ、和やかな雰囲気でも時間を過ごすことができた。パソコンを使って写真を見せながら説明をしたり、クイズ形式にして児童と一緒に考えられるように工夫をしたりしていたので、低学年の児童でも最後まで興味をもって参加することができた。また、児童の反応を見ながら説明を付け加えたり、質問に答えたり、体を動かすゲームが入ったりと、時間を有効に使うことができた。1年生と2年生で1時間ずつ2つの国の話を聞いたが、講師が目の前にいるので親しみもててよかった。

